

公表

事業所における自己評価結果(児童発達支援)

事業所名		地球のかけら			公表日		R7年 12月 3日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	・ 以前と比べ定員数が減ったので、活動しやすくなったが共生型なので生活介護利用者には支援がしにくい。 ・ バギーや車椅子が多い日、床で過ごす方が多い日等、日によって違いがあるが、工夫して過ごしていると思う。（テラスと使用、時間差にする等） ・ 小さな子が安心して過ごせるブレイルームがあると良いと思う。	・ 医療的ケアが必要な利用者が多いので看護師と協力出来ている。 ・ 使用していない室内の環境設定をし、活動の場を増やす。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・ 医療的ケアが必要な利用者が多いので看護師と協力出来ている。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・ 発達を促す為の器具がもう少しあるとよいと思う。 （マットやブランコ） ・ スペースが限られているのが、概ねバリアフリーもなされている。	・ 器具等は検討をして準備をしていく。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2	・ 来書する利用者さんによっては床にマットレスや布団を多く敷く必要があるため、動ける子が遊べるスペースが狭くなってしまうことがある。 ・ ゴロゴロする為の布団やマットが小さい少ない。 ・ 職員が気をつけて清掃を行い清潔を心がけているが、支援の為の小道具の置き場が検討が必要。	・ 小道具やマット等の保管場所を検討し、使用しやすい環境作りをする。 ・ 歩行児童は2Fの機能訓練室を活用する。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・ 個別の部屋は脱衣室・静養室・相談室を利用している。 ・ 静かな空間が必要な方には、その時に応じて個室の用意をしている。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	・ 事業所のPDCAサイクルをあまりつかめていない。	・ 時間を作って検討し進めていく。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	・ 評価表があるのは知っているが結果は知らない。 ・ 保護者が不安定に感じている事や、保護者の視点での意見を知る事ができる。	・ 評価表の提示を行う。 ・ Hpの閲覧を促す。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・ 朝礼などのミニミーティングで把握する事が出来ているので必要時に行う。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1	・ 第3者委員会の評価結果の確認はしていない。	・ 確認が出来るように回覧する。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・ 研修会は開催されているが、時間等の関係で参加する事は少ない。 ・ 勉強会はされているが、なかなか出席できる日がない。	・ 研修はzoomでの参加を促す。 ・ 外部の研修に関しても参加を促す。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・ 支援プログラムは作成されているが、個々のサポートシートの見直しが必要。	・ サポートシートの見直しを会議を通して行う。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		・ 担当者通しで話し合い、計画作成し担当者へつなげている。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・ 担当者通しで話し合い、計画作成し担当者へつなげている。 ・ 担当する職員間での話し合いを作り、計画、検討をされている。			

適切な支援の提供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・児童の状態の変化していくので、具体的な支援を都度行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・普段の様子や連絡帳及びスプレッドシートで確認をしている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・他事業所と情報を共有しながら設定されている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	1	・今まで行った事はない。	・今後活動プログラムを提案して作成していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	・個人の発達状況や季節に応じて工夫をしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3	1	・その利用者の課題となる事を考え、個別のリハビリ、食事、集団の朝の会や遊び、行事等を提供している。	・支援計画の確認を行う。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・朝開始前に情報を共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	・気づきは都度行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・個人的には記録する時間が取れない。 ・常勤の職員は記録を毎日取る習慣がある。 ・事業所内で知っておくべき事なども全職員が読んで共有する事ができる。	・記録する時間を勤務内に設ける。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・担当者で行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		・主に相談員が参加しているが、たまに担当者も出席する事がある。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・体制を整えている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		・情報共有はできている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1	・学校からの情報共有は不明。 ・書類は会議等で情報共有を行っている。	・学校との連絡調の確認の徹底。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	2		・連携はとれている。	・沼特研に参加している。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	1	・他施設の保育所の児童や幼稚園の園児との交流を行っている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・極力そのようにしているが、保護者によっては連絡帳を全く活用をしていない事がある。 ・事業所の様子だけでなく家庭での様子を聞いたり保護者の悩み事も聞いたりしている。	・活用を保護者へ促す。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		・外部研修の情報を提供している。	
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		・利用開始前に相談員より行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	1	・家族にじっくり確認はできていないので、送迎時に行っている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3		・送迎時に説明で同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		・定期的にはできていないが、送迎時に家族と話しが出来ている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	1	・父母の会があるかどうか不明。数年前に囑託医を通して相談や助言を頂き交流をしている。	・納涼祭等の行事で交流を行っている。 またzoomでの親同士の交流を行う機会があったが、今後も増やしていく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		・相談の内容にもよるが、適切な努力をしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		・HPやSNSを活用して発信をしている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		・個別ファイルは鍵付き戸棚に保管をしている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・ジェスチャーや絵カード、笑顔で支援、声かけも良くしている。 保護者とは言葉使いに気をつけている。	
非 常 時 等 の 対 応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	1	・行事への招待は行っているが、休日で不参加。野菜等の販売をしていた。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	・職員には周知するように努力をしているが、家庭にはあまり周知されていない。	・家族には災害時の連絡対処方法やサービス等の周知をしていく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1	・BCPは策定されていると思うが訓練はできていない。	・BCPの策定、訓練の実施。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		・一覧表で確認をしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	・安全計画が作成されているか不明。	・安全計画は作成されているので周知する。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	・周知されているか把握をしていない。	・把握できるように連携、共有をしていく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・気づきシートの確認はしている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・年に1回以上は行っている。	

	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	1	・身体拘束的な事は様々あるので、個々に行っている。	
--	----	--	---	---	---------------------------	--